

桜ヶ丘安心安全声かけ運動

11月16日(土)8時30分～11時30分
桜ヶ丘社会福祉委員会の企画による「安心安全声かけ運動」が、桜ヶ丘会館を中心に4箇所のエリアで実施されました。認知症で道に迷っている人がいても、町内の方の声かけや日頃の見守りで、行方不明にならずに家に帰れる、認知症であっても安心して暮らせる街づくりを目的に、班長が約1時間の座学の後、町内を散歩中の架空の人物さくらさんに声をかけ、二人で会話をしながらゆっくりと歩き、さくらさんの自宅と仮定した桜ヶ丘会館まで送り届けることで、さくらさんが無事に家族のもとに戻るといいう一連の流れを実践的に学習しました。オレンジ色のビブスが声かけ役の班長、緑色がさくらさんです。

架空の人物さくらさんはこんな人です

- ・息子夫婦と3人暮らし。
- ・配偶者は数年前に亡くなりました。
- ・高齢で少し耳が遠くなっています。
- ・認知症の症状で物忘れがあります。
- ・よく散歩をしていますが時々道に迷います。

声をかける班長さんはこんな人です

- ・さくらさんをご近所さんでよく知った関係です。
- ・さくらさんに認知症の症状があること、近所をよく散歩していることを知っています。
- ・さくらさんの家族から「認知症の症状で時々道に迷うから1人で外にいたら気にかけてほしい」と頼まれています。

声掛け(対応)のポイント

- ・驚かせない 急がせない 自尊心を傷つけない
- ・まずは見守る
- ・余裕をもって対応する
- ・声をかけるときは1人で
- ・相手の目線に合わせてやさしい口調で
- ・おだやかにはっきりした滑舌で
- ・後ろから声をかけない
- ・相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

下記の皆様よりご指導とご協力をいただきました

草津市役所「人とくらしのサポートセンター」
草津市役所「長寿いきがい課」
玉川地域包括支援センター
小規模多機能型居宅介護支援事業所 萩の里
居宅介護支援事業所 ケアプラン そら
マザーレイクティサービスセンター
南笠ティサービスセンター あさひ
桜ヶ丘民生児童委員



声かけ（対応）のポイント

- 驚かせない
- 急がせない
- 自尊心を傷つけない

○まずは見守る

一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。

○余裕をもって対応する

こちらが焦ったり困惑すると、相手も動揺します。自然な笑顔で応じましょう。

○おだやかに、

はっきりした滑舌で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきりした滑舌を心がけます。

早口、大声、小声、甲高い声でまくしたてないこと。

○声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと、恐怖心をあおってしまいます。

○相手の目線に合わせて

やさしい口調で

小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにしましょう。

○後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ってから、自然な声かけをしましょう。

○相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急かされること、同時に複数の問に答えることが苦手です。

相手の反応を伺いながら、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。